

2011
7.15 No.156

福祉もりおか

社会福祉法人 盛岡市社会福祉協議会

盛岡市若園町2-2 盛岡市総合福祉センター
TEL:019(651)1000 FAX:019(622)4999
http://www.morioka-shakyo.or.jp/

盛岡市社会福祉協議会の被災地支援活動

盛岡市社会福祉協議会では、東日本大震災発生直後から、沿岸被災地の復興に向けて、避難所へのボランティア派遣や被災地の社会福祉協議会への職員派遣、ボランティアバスの運行など、様々な支援活動を行っています。さらに、7月6日には宮古市川井地区に、盛岡市からの運営委託を受けて、被災地で支援活動を行うボランティアの活動拠点施設「盛岡市かわいキャンプ」を開設しました。

支援活動は、今後も長期にわたり、被災地の多様なニーズに対応することとなります。市民の皆様には、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

東日本大震災被災地支援ボランティアの活動拠点「かわいキャンプ」始動！

かわいキャンプは、旧県立宮古高校川井校を借用して設置し、すでに7月初めから社会福祉協議会の運営スタッフが常駐してボランティアを受け入れ、被災地へボランティアの送迎を行っています。

キャンプは、車で宮古市街地へは約35分、大槌町へは約1時間という立地条件を生かし、後方支援基地としての役割を担っています。また、運営スタッフには、被災地や地元の方々を雇用し、社会福祉協議会の職員と共に運営に当たっています。

〔概要〕

◇設置場所 宮古市川井1-60-3 旧県立宮古高校川井校

▶盛岡から車で約1時間10分

▶岩手県北バス(106急行)上川井バス停から徒歩1分

▶JR山田線陸中川井駅から徒歩約30分(タクシー約5分)

◇利用料 無料

◇問い合わせ

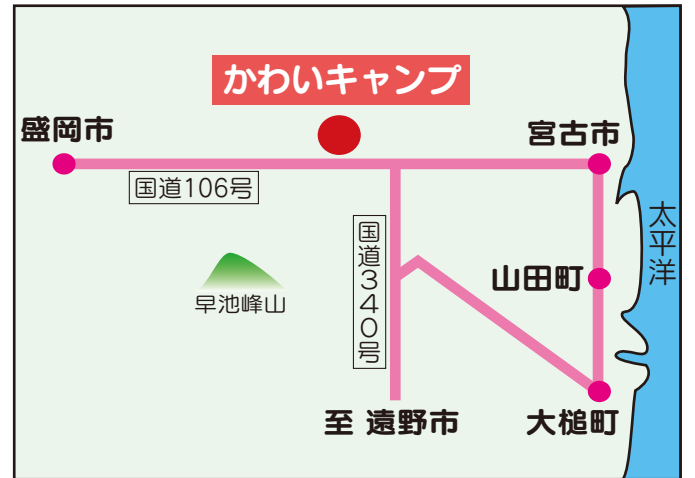
▶かわいキャンプ TEL 0193-76-2005

▶盛岡市社会福祉協議会(災害ボランティアセンター本部)
TEL 019-651-1000

▶盛岡市災害対策本部復興推進部事務局
TEL 019-651-4111



かわいキャンプが開設された旧県立宮古高校川井校



〔役割〕

◇ボランティアの休憩・宿泊(宿泊可能約100人) ※食事や寝具は各自準備

◇ボランティアの受入れ

◇被災地ボランティアニーズの把握、ニーズとボランティアとの調整

◇被災地へのボランティアの送迎

◇かわいキャンプ情報の発信

○かわいキャンプ利用までの流れ

①かわいキャンプへ電話で予約後、郵送またはFAX、Eメールで申し込み

②かわいキャンプ到着

ボランティア受付カード記入。

保険証、自動車運転免許証等、身分証明書を提示いただきます。

※前もってお住いの地域の社会福祉協議会でボランティア活動保険(天災タイプ)への加入が必要です。

○基本的な一日の流れ(現地の状況等に応じて変更があります)

起床 各自朝食

8:00 オリエンテーション後、現地へ出発

被災地支援活動(12:00頃 昼食)

16:00 現地を出発

かわいキャンプ到着後、リーダーミーティング

17:30 夕食など

22:00 就寝

被災地へボランティアバスを運行

～全国から県内の沿岸被災地へ～

盛岡市社会福祉協議会では、沿岸被災地の支援活動に向かう個人ボランティアのために、専用バスを無料で運行しています。

ボランティアバスは、おおむね毎週土曜日、日曜日に運行。

参加者の募集は、市社協ホームページや地元新聞の協力でお知らせします。現地の災害ボランティアセンターとの派遣調整を経て運行を決定しますので、募集の開始は運行日の5～6日前からとなります。

※参加には、ボランティア活動保険(天災タイプ)への加入が必要となります。

被災地ボラセン・社協へ職員派遣

3月21日から被災地の災害ボランティアセンターと社協に職員を派遣し、他県社協の職員と共に運営業務の支援を行っています。

【派遣先】野田村、大槌町、宮古市、大船渡市

【派遣人員】延べ126人(平成23年6月30日現在)

盛岡市災害ボランティアセンター ボランティア派遣状況

平成23年6月30日現在

場所等	活動内容	延べ人数	
避難所	ふれあいランド岩手	物資仕分け、調理・配膳、看護、子供の相手、マッサージなど	1,284人
	愛真館	食事介助、ハンドマッサージなど	149人
	避難所サロン	おしゃべり、趣味活動	49人
被災者内陸受入れ等	受入れバス添乗、介助	102人	
ボランティアバス(野田村、大槌町、釜石市)	がれき撤去、家財移動、側溝泥上げ、川原掃除など	1,034人	
合計		2,618人	

日頃の備えが生きる、災害対応、被災者支援

発電機で避難所に灯りと暖

～みたけ3丁目町内会～

みたけ3丁目町内会(馬場栄松会長)では、3月11日の大震災発生直後から、みたけ老人福祉センターに避難した住民のために、発電機を駆使して停電による暗闇と寒さから人々を守りました。

同町内会は、独自の防災計画に基づき発電機、ガソリン、投光器などを準備したとのことで、馬場会長は「大災害では、電気が停まることが想定されていたので、地域の避難所として必要なものをそろえていたのが役立った。余震が続く中だったが、灯りと暖かさを確保できた」と備えが生かされたことを強調していました。



入り口に発電機2台が設置されたみたけ老人福祉センター

防災福祉マップを活用して震災に対応

～見前ニュータウン自治会～

見前ニュータウン自治会(斎藤俊雄会長)では、3月11日の大震災発生時に、自治会で作成した防災福祉マップを活用し、一人暮らしの方などの安否確認を行うとともに、地区集会所を避難所として開放。約20名が電気が復旧するまでの2日間を過ごしました。

避難所には自治会がストーブやローソクなどを用意し、炊き出しも行いました。

見前ニュータウン自治会では毎年防災訓練を行っており、今回の震災時では、その経験を生かして高齢者などの安否確認が組織的に行われました。



避難訓練の様子

東日本大震災義援金 寄付者

(盛岡市共同募金委員会扱い)

平成23年4月29日～6月30日現在(受付日順)

館向町町内会	63,440円
日戸自治会	50,000円
巻堀児童館	5,565円
好摩児童館	2,356円
浜民児童館	7,060円
生出児童館	8,081円
齊藤 和男	5,000円
杜陵地区民生児童委員協議会	50,000円
盛岡市ファミリーサポートセンター	12,011円
島守 亨	10,000円
盛岡手話サークルみず	10,000円
佐々木 徳栄	3,000円

地域で避難者を支援

～つなぎ地区振興福祉推進協議会～

つなぎ地区振興福祉推進協議会(高橋金兵衛会長)では、沿岸被災地から繋温泉の愛真館に避難されてきた歩行困難な高齢者の方の介助支援を行いました。

この支援活動には、地区の民生委員、婦人会、社会福祉協議会登録のボランティア、それに岩手県立大学生も参加。地区振興福祉推進協議会で時間、担当を打ち合わせた後、それぞれ朝昼晩の食事の都度、部屋から食事会場への移動を支援しました。

この活動は、避難者の方々が仮設住宅へ引越すまでの約2ヵ月間、行われました。



介助支援メンバーによる打ち合わせ

避難者の食事を支える

ふれあいランド岩手(三本柳)に避難した被災者の方々の朝食支援をふれあいランド周辺の4町内会と市内の3団体が協力して行いました。

三本柳南町内会、三本柳西自治会、三本柳北自治会、第13区町内会、ふれあいランド岩手友の会、盛岡地区更生保護女性の会、盛岡市食生活改善推進員協議会の協力により、毎日温かい朝食が準備されました。



朝食の準備

東日本大震災により被災した世帯のために

「生活復興支援資金」貸付制度が始まります

東日本大震災により被災した世帯に対し、生活復興に必要な資金をお貸します。申請の受付は、7月下旬に開始予定です。

実施主体	岩手県社会福祉協議会(窓口は盛岡市社会福祉協議会)
貸付対象者	東日本大震災により被災した低所得世帯 ※生活保護を受給している世帯、失業給付を受給している方がいる世帯は対象になりません。
貸付内容	① 一時生活支援費(生活の復興の際に必要な当面の生活費) 月20万円以内(単身世帯は15万円以内)×6ヵ月以内(り災証明または被災証明の提出がない場合は3ヵ月以内) ② 生活再建費(住居の移転費、家具什器等の購入に必要な費用)80万円以内 ③ 住宅補修費(住宅補修等に必要な費用)250万円以内 ※住宅補修費については「災害弔慰金の支給等に関する法律に基づく災害援護貸付金」との併用はできません。
貸付条件	連帯保証人：原則1名(ただし、連帯保証人を立てられない場合でも貸付可能) 貸付利率：無利子(連帯保証人が立てられない場合は年1.5%) 据置期間：最終貸付の日から2年以内 償還期間：据置期間経過後20年以内(金額に応じて設定)

※ 申請方法等、詳細は盛岡市社会福祉協議会(TEL 651-1000)までお問い合わせください。

赤い羽根「福祉のまちづくり支援事業」盛岡市内5団体に助成

岩手県共同募金会の「福祉のまちづくり支援事業」に、今年度は下記の盛岡市内5団体が選ばれました。

この事業は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの活動に必要な機器・備品等の整備資金を岩手県共同募金会が助成するものです。

【助成先団体】

- ・西部点字パソコンサークル・ステップ
……………(パソコン点字用機器:160,000円)
- ・本宮地区福祉推進会
……………(地区福祉推進会主催講座用機器整備事業:290,000円)
- ・盛岡地区更生保護女性の会
……………(住民を対象とした合唱訪問交流用機器整備事業:154,000円)
- ・がん患者・家族の会「かたくりの会」
……………(活動機器整備事業:160,000円)
- ・日本ALS協会岩手県支部
……………(コミュニケーション支援体制整備事業:300,000円)

社協特別賛助会員 ありがとうございます

次の法人・事業所様から社協特別賛助会員としてご支援いただきました。※平成22年度分

岩手県北自動車(株) 東野建設工業(株) (有)洋食みずの



もっとひろがれ ボランティアの輪

被災地のニーズを聞きながら… 支援物資の仕分け作業 「ひまわりグループ」



個人用の洗面セットをつくる

全国から送られてくるさまざまな、そして大量の支援物資。これが右から左へと被災地に送られるわけではない。送られてきた段ボール箱を開け、中身を確認して(わずかだが使用不可なものもある)、衣類(大人用、子供用、男用、女用などなど)、台所用品、洗面用具、文房具などに分類。それを今度は1世帯分、1人分といったようにセットして袋に入れ、段ボールにまとめる。こうした細かい作業を経て、被災地へ送り出されるのだ。

「ひまわりグループ」は、当初は岩手産業文化センター・アピオで支援物資の電話受付と、送られてきた支援物資の受け入れを担当していたが、続々送られてくる支援物資に仕分け作業が追いつかないことがあって、自然に手伝うように

なった。現地に向かうトラックにもメンバーが同乗し、しっかりと現地に届けると同時に、被災地の人たちがいま何を求めているのかを聞いて帰って来る。それを次のセットをつくる参考にするのだ。

「初めのうちは寒かったので衣類の希望が多かったのですが、だんだん暖かくなるにつれて今度は殺虫剤が欲しいとか、ニーズがいろいろ変化してきています」と会長の姉菌さん。

「ひまわりグループ」は平成12年の結成。盛岡市内の主婦を中心としたグループで、初めは高齢者施設の清掃ボランティアを行っていた。17年から盛岡市ボランティア連絡協議会に登録、イベントでバザーを行うなど活動を広げ、今回、同協議会の震災ボランティア立ち上げにもすぐ手を挙げ参加した。

「アピオでの作業は時期が来れば終わりますが、それから先、何が出てきますか。それに応じてボランティアの内容も変わっていくと思います。メンバーの皆さんと力を合わせて対応していきたいです」(姉菌さん)



支援物資の箱に描かれたメッセージ

ひまわりグループ

会長 姉菌和子さん
会員 約60名

ボランティア募集

盛岡市 障がい者スポーツ大会

盛岡市障がい者スポーツ大会実行委員会では、盛岡市障がい者スポーツ大会に協力していただけるボランティアを募集しています。

日時：8月20日(土)
午前9時30分から

場所：ふれあいランド岩手(三本柳)
内容：大会運営、競技補助員など
申し込み先：7月29日までに盛岡市社会福祉協議会地域福祉課(TEL 651-1000)へ



昨年の大会の様子

避難所サロン「お茶飲みの会」

東日本大震災発生後、盛岡市内の避難所で生活している皆さんが、気軽に集まり、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しむ場として、避難所内で毎週サロン「お茶飲みの会」を開催しています。

「お茶飲みの会」は、永井地区の民生委員やシルバーメイト、また、個人ボランティアの皆さんの協力をいただき、4月19日(火)にふれあいランド岩手(三本柳)でスタートしました。

その後、ふれあいランド岩手に避難している方がいなくなったことから、現在は、こもれびの宿(湯沢)に会場を移し、これまで協力していただいた皆さんに加え、飯岡地区の民生委員や表千家同門会岩手支部などの協力もいただ



いて開催しています。

「お茶飲みの会」では、おしゃべりの他に、それぞれ好きなことをして自由な時間を楽しんでいます。最近は刺繍や折り紙の人氣が高く、作品が出来上がる度に歓声が沸いています。

4月からスタートして約3ヵ月が経過し、完成した作品も増えたことから、「展示会を開催できればいいね」との声も上がっています。

開催日：毎週火曜日
時間：10:00~11:30
場所：こもれびの宿
内容：おしゃべり、趣味活動など



「おじゃまします」 ふれあい・いきいきサロン 「南大通二丁目町内会」



南大通二丁目町内会ふれあいサロンは、近くに有名な大慈清水がある鉾屋町の町家を利用して開催されています。

どっしりとした旧家のたたずまいの中でのサロンは、ゆったりと穏やかに時間が流れていきます。参加された方々は、地域の昔話や身近な暮らしの情報交換などに相づちを打ちながら楽しんでいるようでした。

世話人である藤澤佐登志民生委員は、開催場所を探すのに長い間苦勞されたとのことですが、町家の一角を継続して借りるめどがみついたところで今年5月にサロンを立ち上げました。

開催日は毎月第4木曜日と決め、カラーのチラシで内容を周知しています。

藤澤さんは「高齢者の方の参加はもちろんのこと、若い人達の参加を増やしたいと考えています」と意欲的でした。

開催日：毎月第4木曜日
場所：お休み処
会費：100円
内容：おしゃべり、情報交換等

「サロンの開催を検討しているがどうやったらよいかわからない」「サロンとはどういったものなのか知りたい」という場合は、盛岡市社会福祉協議会までお問い合わせください。(TEL 651-1000)

はやくおおきな~れ!!! 生出児童館ちびっこ農園作業

生出児童館(幼児10名、学童29名、保護者9名)では、生出3若葉会(木村敏雄会長外7名)と児童館敷地内の農園で、野菜の苗植えと花植え作業を行いました。

この行事は、自分たちで育て食することの実感と地域の方々との交流を目的に毎年行われています。

野菜の苗や種芋を手にした子供たちは、老人クラブの方に教わりながら丁寧に植えていました。

参加した保護者の一人は「小さい頃から普段食べているものがどのように育つか体験できるのはいいですね。収穫が楽しみです」と話していました。



まごころ

盛岡市社会福祉協議会の事業活動資金として次の方々からご寄付をいただきました。
ご協力に感謝し、ご報告申し上げます。

平成23年4月16日～平成23年6月29日現在(敬称略)

- 一般寄付
 - 社会福祉のために
 - 佐藤恵子 10,000円
 - 小川裕 50,000円
 - 匿名 5,000円
 - 第26回チャリティー合同演芸会 123,255円
 - 都南混声合唱団 20,000円
 - 沼田律子 50,000円
 - 沼田律子(玉山区扱い・玉山区福祉事業のため) 50,000円
 - 総合福祉センター補修準備積立預金のために
 - NPO法人岩手シークエンスダンス会 30,000円
 - 東日本大震災被災地支援のために
 - 盛岡市ゴルフ協会 30,000円
- 物品寄付
 - 高齢者福祉のために
 - 曹洞宗第一教区寺族会 タオル、シーツ等249点
 - 東日本大震災被災地支援のために
 - 吉田トシ 手下げタオル20枚、雑布150枚
 - チャイルドシート貸出事業のために
 - 工藤美智子 チャイルドシート1台

社協世帯会費のお願いについて

盛岡市社会福祉協議会は、各種福祉サービスや相談活動、ボランティア活動、市民活動の支援など、在宅福祉・地域福祉活動の推進に取り組んでいます。
この活動を推進する資金の一部として、市民の皆様から「世帯会費」1世帯年額200円を町内会・自治会等を通じてご協力をいただいています。
市民お一人おひとりのご協力が「福祉のまちづくり」に生かされます。
今年度も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

弁護士による無料法律相談

盛岡市社会福祉協議会玉山支所では、弁護士による無料法律相談を行います。
日 時：第1回 7月27日(水) 10:00～15:00
第2回 9月29日(木) 10:00～15:00
場 所：盛岡市玉山総合福祉センター
(玉山区浜民字泉田77-1 盛岡市役所玉山総合事務所隣り)
定 員：8名
相談時間：1人30分以内
申し込み：盛岡市社会福祉協議会玉山支所 TEL 683-2743
※ 第2回の予約受付は8月28日からです。

社会福祉協議会の相談窓口

<相談電話 651-1000>

《高齢者無料職業紹介所》

求 職：働く能力と意欲のある高齢の方に職業を紹介します。
対象は、おおむね65歳以上の方
求 人：病院での付添いや家事の手伝い、草取り、庭木の手入れなどを行う人材を派遣します。
派遣は有料です。料金は仕事の内容により異なります。
相談日時：月～金曜日 8:30～17:00(国民の休日、年末年始を除く)

《結婚相談所》

幸せな結婚を望んでいる方のために、結婚相談所を開設しています。
希望される条件を満たした方または希望される条件に近い方をご紹介します。
相談日時：月・水曜日 10:00～16:00(国民の休日、年末年始を除く)

《心配ごと相談所》

市民の皆さんが抱える日常的な生活の悩み、家族問題など様々な相談をうかがい、解決へのアドバイスをします。
相談日時：月～金曜日 10:00～16:00(国民の休日、年末年始を除く)

《人権・相続相談》

司法書士による、人権、相続等に関する相談をうかがいます。
相談日時：8月19日(金) 10:00～16:00
9月16日(金) 10:00～16:00

場 所：盛岡市役所都南総合支所(津志田14-37-2)
問い合わせ：盛岡市社会福祉協議会 TEL 651-1000

《人権・生活相談》

人権、生活に関する相談をうかがいます。
相談日時：8月10日(水) 10:00～15:00
9月14日(水) 10:00～15:00
場 所：盛岡市玉山総合福祉センター
問い合わせ：盛岡市社会福祉協議会玉山支所 TEL 683-2743

福祉もりおか広告募集

盛岡市社会福祉協議会では「福祉もりおか」への広告掲載企業を募集しています。
・年5回発行
・盛岡市内全戸配布(一部回覧)
・発行部数 1回約125,200部
・広告料(1回) 50,000円(縦64mm×横243mm)
・申し込み・問い合わせ 盛岡市社会福祉協議会 TEL 651-1000



催し案内



■市民福祉茶会

盛岡市茶道協会のご協力により、盛岡市にお住まいの70歳以上の方をご招待します。
日 時：9月4日(日) 13:00～
場 所：杜陵老人福祉センター(南大通1-7-5)
申し込み：招待券(お1人様1枚)をご希望の方は、盛岡市社会福祉協議会窓口まで。

■第40回盛岡市子ども会スポーツ大会

市内各小学校区の予選を勝ち抜いたドッジボールチームが集まり熱戦を繰り広げます。
日 時：8月7日(日) 8:30
場 所：盛岡市アイスアリーナ(本宮5-4-1)
主 催：盛岡市子ども会育成会連絡協議会

高校生ボランティアスクール参加者募集

盛岡市社会福祉協議会では、高校生を対象にボランティアスクールを開催します。
日 時：7月29日(金) 9:00～16:30
場 所：盛岡市総合福祉センター(若園町2-2)
内 容：災害ボランティアについて、応急手当講習
参加費：無料
申し込み：7月19日までに盛岡市社会福祉協議会 TEL 651-1000 へ。



平成23年度 災害ボランティアオリエンテーション開催

これから災害ボランティア活動に参加される方や災害ボランティアを考えている方を対象に、心構えなどを理解していただくため、オリエンテーションを開催します。
日 時：7月30日(土) 13:00
※希望者は、翌日7月31日にボランティアバスに参加することができます。
※定員がありますので事前申し込みが必要です。
会 場：盛岡市総合福祉センター(若園町2-2) TEL 651-1000
参加費：無料
申し込み：7月21日までに盛岡市社会福祉協議会へ。
TEL 651-1000 FAX 622-4999

ホームヘルパー募集

盛岡市社会福祉協議会では、ヘルパーステーションで働くホームヘルパーを募集します。
募集職種：ホームヘルパー
必要資格：ホームヘルパー2級以上または介護福祉士資格
雇用形態：非常勤(時給1,200円～)
募集人数：若干名
勤 務 地：①盛岡駅西口ヘルパーステーション(盛岡駅西通1丁目2-2)
②月が丘ヘルパーステーション(月が丘3丁目7-5)
問い合わせ：盛岡駅西口ヘルパーステーション TEL 653-3013
月が丘ヘルパーステーション TEL 645-5125

いきいき高齢者通所支援事業(介護予防) 「ゆいっこ広場」に参加しませんか!

盛岡市社会福祉協議会では、玉山区内の65歳以上の一人暮らしや日中一人になる高齢者(介護保険非該当)の方等を対象に、生きがいつくりや身体機能の維持向上等のため、いきいき高齢者通所支援事業「ゆいっこ広場」を開催しています。
地区の公民館等で、教養講座や軽スポーツ、趣味・創作活動等を行っています。地域の仲間と集い、健康で楽しい時間を過ごしましょう!

対 象 地 区	期 日	場 所
舟田・柴沢地区	毎週月曜日	舟田地区介護予防センター
姫神地区	〃	姫神地区振興センター
白沢・日戸・川又地区	毎週火曜日	玉山生活改善センター
生田地区	〃	生田3地区コミュニティセンター
城内・山谷川目地区	毎週水曜日	城内地区コミュニティセンター
好摩・浜民地区	毎週木曜日	玉山総合福祉センター
馬場・巻堀地区	毎週金曜日	巻堀地区コミュニティセンター
藪川地区	第1・3水曜日	岩洞活性化センター
外山地区	第1・3木曜日	岩洞活性化センター
藪川・外山地区を除く	毎月最終の週	ユートランド姫神

*参加費
1回500円(昼食・おやつ代)。ただし、外山・藪川地区は1回600円(昼食・おやつ代)
*ユートランド姫神を利用する場合は入浴料500円と昼食代が別途必要です。
*申し込み・問い合わせ先
盛岡市役所玉山総合事務所 健康福祉課 TEL 683-2111
盛岡市社会福祉協議会玉山支所 TEL 683-2743

おでかけ送迎サービス

盛岡市社会福祉協議会では、一般の交通機関を利用できない高齢者の方などを対象に無料でリフト付車両を運行しています。通院やリハビリなどで外出する際にご利用ください。
利用対象者：在宅で車いすを利用している方、寝たきりの方
利用回数：月2回まで
問い合わせ：盛岡市社会福祉協議会在宅福祉課(TEL651-1000)または盛岡市社会福祉協議会玉山支所(TEL683-2743)。なお、利用の際は、家族等の付き添いをお願いいたします。
◎おでかけ送迎サービスの運転ボランティアを募集しています。普通自動車免許をお持ちの方で、年齢は65歳までです。
運転車両：トヨタハイエース、ニッサンセレナ、ダイハツアトレー
時 間：平日の9:00～12:30または13:30～16:00
問い合わせ：盛岡市社会福祉協議会在宅福祉課 TEL 651-1000

編集後記

震災から4カ月が経ち、がれき撤去や仮設住宅の建設等が進んでおりますが、復興まではまだまだ長い道のりです。
さて、震災の影響で電力が不足し、今年の夏は省エネが大注目されています。6月1日から全国で「超クールビズ」が始まり、涼しい服装やエアコン設定28度など、昨年以上に多くの企業が取り組みを進めています。また、多くの家庭でも省エネを意識しているようです。必要最低限だけ電気を点ける、使わないコンセントを抜く等、小さな事でもみんなが協力すれば大きな効果になります。できるだけ電力を被災地へ回せるように、協力して省エネを実行しましょう!(Y)